

## JICA 教師研修 学習指導案・授業実践報告書

### 【実践者】

氏名	兵藤 桃香	学校名	独立行政法人国立高等専門学校機構 長岡工業高等専門学校
担当教科等	日本語（留学生）	対象学年（人数）	1年 2・4組（80名程度）
実践年月日もしくは期間（時数）	2021年12月（2時間）		

### 【実践概要】

1. 実践する教科・領域：特別活動		
2. 単元(活動)名：特別活動		
3. 授業テーマ（タイトル）と単元目標 授業テーマ： 「一人の行動が世界を変える！？自分にできる取り組みを提案してやってみよう！」 単元目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の幸せ時間・みんなの幸せ時間を知る</li> <li>・日本社会が抱える課題について知る</li> <li>・新潟や長岡など県内での地域活性化のための取り組みを知り、自分にできることを考え発表し、学期末までに1回はやってみる</li> </ul> 関連する学習指導要領上の目標： 学習指導要領なし（高等教育機関のため）		
4. 単元の評価 規準	①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や周りの幸せについて考える</li> <li>・日本社会が抱える31の課題を知る</li> <li>・自分の考えをパワーポイントにまとめることができる</li> </ul>
	②思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを他の人に伝えることができる</li> <li>・人の話を聞き、それを自分の地域の課題に置き換え、何ができるか考え提案することができる</li> </ul>
	③学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の考えや発表を聞き、意見交換ができる</li> <li>・一過性ではなく、継続して行うことができるテーマを設定し、実際に活動することができる</li> <li>・この学びをきっかけとして、課題を自ら調べることができる</li> </ul>
5. 単元設定の理由・単元の意義  (児童/生徒観、教材観、指導観)	<b>【単元設定の理由】</b> 本校では、日頃から地域や企業と繋がり、課題抽出や解決力を育むより実践的な授業にも注力している。そのため、「より人々が暮らしやすくなる」ために、課題を発見し、それを解決するために自分にできることを考え実践するきっかけとしてほしい、と思い本単元を設定した。  <b>【単元の意義】</b> 様々な背景を持った人達と共に暮らすこと自体が多文化共生であり、「より人々が暮らしやすくなる」ために、課題を発見し、自分にできることを考え、行動を起こしていく過程での気づきは、今後社会に出た後も必要となる。この活動を通して、学生達は課題発見力や実行力を育むことが期待できる。	

	<p><b>【児童／生徒観】</b></p> <p>高専は寮もある為、新潟県内、県外から学生が集まってくることもあり、地元にもバラつきがあり、今回参加の学生の出身地は6割以上が長岡市外の学生であった。そのような中、今回授業を行う1年2組は留学生も在籍しており、「国際化推進モデル学級」としているため、比較的海外や交流に興味のある学生が在籍している印象である。また、1年4組に関しては、担任の先生がこの授業に興味を持ってくださり、9日のみ任意での参加となった。</p> <p><b>【指導観】</b></p> <p>グループワークでみんなの意見を聞く時間と一人でじっくり考える時間を持たせることで、自分の考えと他者の考えの違いをバランスよく感じてもらえるような工夫をする。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 単元計画 (全 2 時間)				
	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	地方創生 多文化共生 社会	自分や周りの幸せ時間を知る 地域活性化に向けた県内の取り組みを知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の幸せ時間を考える・周りの人の幸せ時間を知る</li> <li>●日本が抱える 31 の課題を知る</li> <li>●新潟で活動している人の話を聞いて自分にできることを考えてみる</li> </ul>	パワーポイント ワークシート
2		活動のまとめとして発表と意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の考えた活動を一人ずつ発表</li> <li>●発表したものを見ながら付箋にコメント記入し貼る</li> </ul>	パワーポイント ワークシート 付箋

7. 本時の展開 (1 時間目)

本時のねらい：

日本が抱える 31 の課題に対して、自分の地元の課題として捉え、課題解決策を自身で考える時間と、他の人の話や意見を聞いた上で再度考える時間をもつことで「自分にできること」を見つめ直すことができるようにする。また、考えるだけではなく、実行できそうなものを提案することができるように準備をする。

過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
<b>導入</b> (7分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●挨拶・事前に実施したアンケートの結果共有</li> <li>●自分の幸せ時間について考える その場で QR を読み込んでもらい、入力してもらったものを共有する</li> </ul>	QR コードを読めているか 確認	① PPT  ② Mentimeter
<b>展開</b> (30分)	◆地域社会の課題 31 について考える (事前にワークシートを渡して興味のあるものや課題を 3 つ選んで記入してく	ワークシートがあるか、 グループで話せているか確認	③ワークシート 「社会 31 課題」

<p>まとめ (13分)</p>	<p>るように指示してある) グループで1人1分程度ずつ考えを発表していってもらおう 周りの人の意見などで気になるものがあればメモする</p> <p>◆実際新潟県内で活動している人から話を聞く</p> <p>1. NPO 法人リリマリプロダクション代表：山田彩乃氏 2. JICA 長岡デスク：原洋介氏</p> <p>■振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞いて感じたことを30秒くらいで一言共有</li> <li>・全体の活動を振り返って考えたことなどを紙にまとめる</li> </ul> <p>■次回までの課題の指示</p>	<p>課題の指示は Teams にあげておく</p>	<p>③ ワークシート</p> <p>① PPT</p>
<p>8. 評価規準に基づく本時の評価方法</p> <p>学期末の際に、自分で掲げた取り組みに対し、どれくらい達成できたか自己評価してもらい、ワークシートに記入してもらおう。</p>			
<p>9. 学習方法及び外部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人リリマリプロダクションとの繋がり</li> <li>・JICA 長岡デスクの方との繋がり</li> </ul>			
<p>10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用魚をテーマとした長岡市で開催された外国人を対象とした日本語スピーチコンテストで本校留学生が優勝（本校 HP 及び地元紙掲載）</li> <li>・長岡市で開催された「発酵トリップ」というイベントで、未利用魚を使用した練り物の販売を寺泊漁協、長岡市職員、地域飲食店のご協力のもと出店</li> <li>・「発酵コンテスト」に未利用魚を使用し、未利用資源と技術をかけあわせ実験を実施・応募</li> <li>・新潟大学附属幼稚園の園児と本校留学生の国際交流活動を2回実施（日本人学生も参加）</li> <li>・「夢の種プロジェクト2021」という市民の挑戦したいものをプレゼンするもので、本校学生が2名銅賞受賞</li> <li>・にいがた NGO ネットワーク国際教育研究会 Ring で活動報告会</li> </ul>			
<p>【自己評価】</p>			
<p>11. 苦勞した点</p>	<p>授業を行った学級は、今回がほぼ初めて接する学生であったため、学生の様子や特徴が掴みきれず、どこまで要求したらいいのか加減がわからず苦勞した。ま</p>		

	<p>た、学区が決められておらず、長岡外からの学生が7割くらいであったため、クラス全体としての共感を得られにくい状況であった。</p> <p>実際に、新潟での活動を知るだけではなく、自分にできること、を考え、まとめ実践するところまでを短い時間で落とし込むという点に難しさを感じた。</p>
12. 改善点	<p>今回、2回で行う計画で、グループや個人の意見や考えを共有する時間が圧倒的に短く、時間に追われる形となってしまったため、もう少し計画から余裕を持たせる必要があったと感じた。全体的に、じっくりと考えることや、他の人の意見を聞いて考える、という時間をしっかりと設けた方がいいと感じたため、次回改善できるよう努めたい。</p>
13. 成果が出た点	<p>今回の活動をきっかけとして、学生団体のイベントに参加した学生が数名いた。また、新潟での活動や文化について知るきっかけとなり、自分たちの身近な地域課題を見つけること、また県内全域から学生が集まるので、色々な視点からの提案がある中でも、みんなが少しでも暮らしやすくなるための提案がなされていた。</p>
14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<p><b>【学生が作成したスライド一部 (学生同士のコメント付き)】</b></p> <p>下記のような、実現可能な範囲で取り組みそうな提案を考えてきてくれた学生が多くいた。</p> <div data-bbox="411 931 1417 1249"> <p><b>伝統文化の継承</b></p> <p>選んだ課題番号：19：伝統文化・技術をどう継承するか</p> <p>活動内容：日本の伝統的な食文化や行事をする。</p> <p>この活動を選んだ理由：文化などを調べるより、その文化をしたほうが良いと思ったから。</p> <p>誰とやるか：家族、友達</p> <p>どこでやるか：家、寮</p> <p>1月：初詣に行く、七草粥を作ってみる</p> <p>2月：恵方巻を作って食べる、豆まきをする</p> </div> <div data-bbox="411 1267 1394 1682"> <p>家族との交流が盛んな時代だから良いと思った。</p> <p>自分が今、祖母と話をしている。今の祖母は結構元気。でも今後はどうなるか、という話をした。</p> <p>高齢化が進むから、これこそが... いいと思った。</p> <p>選んだ課題番号：04</p> <p>活動内容：高齢者と話してできることを増やす</p> <p>この活動を選んだ理由：高齢化社会でもできることを</p> <p>誰とやるか：おばあちゃん</p> <p>どこでやるか：家</p> <p>1月：楽しいお話をする</p> <p>2月：離れていてもビデオ通話</p> </div> <p><b>【学生の気づきやコメント一部】</b></p> <p>実際に、地域課題や活動に関して「知る」ことの大切さや、行動してみようとするものの大切さに関するコメントが多く挙げられていた。また、同じ課題番号を選んでも違った視点からの取り組みの提案があることに気づいたり、同じ課題を選んだ人同士が協力してやってみたりしたらいいのではないかな、などの気づきも見られ活動の幅が広がりそうなものが多くあげられていた。</p>

	<p>●今日の活動全体での気づき・感想 2人の人が話していた長岡の活性化させるための行動が、ほとんどが自然に聞けることだ。その中で、改めて長岡にはある新しい資源は、自然豊かだ。と感じました。長岡に関して少し詳しくなりたいなと思いました。</p> <p>●今日の活動全体での気づき・感想 エコやSDGs、地域活動等は限られた予算の中でいかに活動が出来るかというのを感じていたが、未利用の件やニホンシバラクのこと等がしっかりと情報がでて、経済にも貢献しているという点がすごく良いと感じました。</p> <p>●2回の講義を終えての全体的な感想・抱負など 課題番号が被っている、その活動内容は違っているが、おもしろい。今日のレポートを発表した。1月2月にやることも実践できるワークがある。</p> <p>●2回の講義を終えての全体的な感想・抱負など みんな時間があまり無かったのに、クオリティの高いスライドをつくり、内容をよく考えていたり、感心しました。これからは、SDGsに関しても考えていきたいです。</p> <p>●2回の講義を終えての全体的な感想・抱負など 人の意見を聞いてみた。自分も、授業や課題について考えたい。他の人の目標を手助けしつつ、自分の目標も達成したい。</p> <p>●今日の講義を聞いて、さらに調べてみたいこと・疑問・聞いてみたいことなど何でも ・似たような田舎の地域にも共通する問題があるだろうし、違いも見てみたい。 ・他の長岡の団体についても知りたい。</p> <p>●今日の活動全体での気づき・感想 ・知識というのはやはり大切だなと気づいているが、知らないから長岡への印象が変わります。さすがに市民全員が認知するというのは素晴らしいかもしれませんが、それでもっとなまけてほしいと思います。</p> <p>●今日の活動全体での気づき・感想 いろいろな人が「進めよう」として、社会のために活動している。今日は、その中でも、今回聞いた。初めに、その方が、多岐にわたる活動を多岐にわたって行っている。</p> <p>●2回の講義を終えての全体的な感想・抱負など 43トーンが話していた。3つに同じトーンが、いかに、おもしろい。新しい視点から、物事を、見ることが、出来る。取り組む。</p>
<p>15. 授業者による自由記述</p>	<p>今年度、初めての参加でしたが、新たな視点で多文化共生や地方創生に関し活動している方々から話を聞くことで知識を得ることができ、大変刺激的であった。また、震災に関しては被災地へと足を運び、当時の話を聞き、そこから学んだことや地域の方々の想いを聞くことができ貴重な体験であり、このような機会を設けていただいた全ての方々に深く感謝している。</p> <p>今回、たくさんの知識を得る機会を頂けたので、これで終わるのではなく、これから教員として何が出来るのか、と私自身も考え、今後の教員生活に継続的に活かしていきたいと思う。</p>

参考資料：

Mentimeter「自分が幸せだと思う時はどんな時？」 <https://www.menti.com/hemnd5vubi>（最終閲覧日：2021年12月7日）

社会課題解決中 MAP. <https://2020.etic.or.jp/>（最終閲覧日：2021年12月7日）